

令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 113

千葉県立木更津東高等学校 全日制の課程 普通科・家政科

1 期待する生徒像

普通科	人物が優れ、高校生活全般にわたりまじめに取り組み、向上する意欲があり、次のアまたはイの要件を満たす生徒。 ア 学習成績が優れていること。 イ スポーツや文化活動に優れた資質を有し、本校の部活動に積極的かつ継続的に取り組む意志があること。
家政科	家庭科への興味・関心と適性を有し、人物が優れ、高校生活全般にわたりまじめに取り組み、向上する意欲があり、次のアまたはイの要件を満たす生徒。 ア 学習成績が優れていること。 イ スポーツや文化活動に優れた資質を有し、本校の部活動に積極的かつ継続的に取り組む意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア 口頭による自己表現 日本語による自己アピール 実施形態：個人で発表 検査時間：3分 イ 実技による自己表現 次の実技のうち1つを選択 バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球、書道、音楽（独唱） 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は、複数人数で実施） 検査時間：20分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値に、イ～エについて加点（上限20点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 出欠の記録	3年間の出席状況を、1～2点の範囲で加点する。
ウ 行動の記録	○印の数により、1～8点の範囲で加点する。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、部活動の実績、資格、ボランティア表彰等を、1～10点の範囲で加点する。

(3) 自己表現 [100点満点]

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（特に優れている）・b（優れている～普通）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。

2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～d d）で得点化する。

ア 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 表現の内容・意欲	内容が明確である。表現力がある。意欲的である。
(イ) 志望理由・抱負	志望の理由が明確である。高校生活の目標や夢が明確である。
(ウ) 態度・言葉遣い・身だしなみ	態度、言葉遣い、身だしなみがしっかりしている。

イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 技術・資質	技術・資質が一定のレベルに達している。
(イ) 積極性・姿勢	積極的に表現している。真摯に取り組んでいる。
(ウ) 挨拶・態度・身だしなみ	挨拶・態度・身だしなみがしっかりしている。

<得点の算出方法>

(ア)の評価の組合せ	得点	(イ)の評価の組合せ	得点	(ウ)の評価の組合せ	得点
a a	60点	a a	20点	a a	20点
a b, a c, b b, b c	30点	a b, a c, b b, b c	15点	a b, a c, b b, b c	15点
a d, b d, c c, c d	20点	a d, b d, c c, c d	10点	a d, b d, c c, c d	10点
d d	10点	d d	5点	d d	5点

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」「調査書の得点」「第2日の検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	自己表現	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	20点	100点	$(755 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95

m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。